

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	薩摩川内市子ども発達支援センターつくし園（児童発達支援事業施設）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月13日		～ 令和8年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和7年12月23日		～ 令和8年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月17日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「安心」をベースに、「遊び」を通して療育が展開され、個々の発達段階に応じた「遊びの世界」を育てる。	生活習慣・身体を使った遊び、手指の活動、認知・認識、社会性を育てるために小集団での活動、暮らしの主人公としての仲間の中でかわり、遊びを展開することで、言葉やコミュニケーションの力を育てる遊びを取り入れる。	保護者との連携、強化事業（OT・ST・PT・音楽療法）の専門家との連携を図り、療育を充実させていく。関係機関（幼稚園・保育園・習い事など）と連携して情報共有を行う。
2	家族との面談などで、保護者一緒に子育てに関して「安心」して子育てに向き合えるように、専門家などのアドバイスももらいながら一緒に「悩み」「ねがい」に寄り添える環境を作る。	家族支援にて（家庭訪問・事業所内での相談、ペアレント・プログラム）を随時行うことで、療育状況を伝え、家庭での様子を理解し、その情報を基に療育へ展開していくようにしている。	親子療育、親子活動の内容の工夫、保護者同士の横のつながりが持てるような取り組みを行う。ペアレント・プログラムの呼びかけ方などにも工夫を行い、保護者が仲間を増やしていく取り組みを行っていく。
3	研修会などリハビリの先生や大学の先生などから学ぶ機会を作れたこと。外部研修なども積極的に受講するようにしている。	研修会では、BCPなど専門家の先生へ講師依頼して研修会ができた。地域の大学にも連携してもらい、研修会を行い、済生会病院の地域貢献事業において、感染症等の研修も実施することができた。	外部研修や資格取得の促進、園内研修でも様々な機関と協力体制を作り、研修の内容を工夫して充実させたい。センター機能強化事業とも連携して、研修計画を企画・立案して、地域の児発事業所への研修会も展開していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用時間の変更により、朝のミーティング（療育内容・休み・その他の連絡事項）の時間が取れるようになったことで、安全面への対策や職員間のやりとりの機会を増やすことができた。	送迎時間が早い曜日には、ミーティング時間が十分に確保できないことがあるので、ミーティング時間の確保できる体制にしていく。	・朝ミーティングが難しいときもあるので、午後受け入れがないようにし、計画的にミーティングの機会を確保する。
2	事業及びセンターにおける連携時間が余り確保できず、グループ間の連携がとれない。そのため、個性的な療育活動はあっても、他の良さを取り入れた活動が展開されにくい状況にある。	・グループシフト制への固執 ・グループ内及びグループ間の連携時間の確保 ・互いの療育発表・参観の機会設定	・児発管を中心としたリーダー会議を定期的にもち、グループ間の連携の時間を確保する。 ・職員研修に、各グループ毎の療育発表を組み込んで、互いの設定療育を参観し意見交換する場を設ける。
3	併行通園先への送迎がほぼ100%であり、保護者が送迎し、その受け渡し時に職員と情報交換する機会は少ない。そのため、保護者連携の時間を設定する必要がある。	・働き方改革による保護者会活動の参加への負担 ・保育所等との連携不足 ・療育参観（自由参観日）の設定	・保護者会の廃止に伴い、保護者同士が集う場も少なくなるため、円行事や面談・参観をこれまで以上に設定し、保護者同士の語り合いの場を設ける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つくし園（事業発達支援事業所）

公表日 令和8年 2月 17日

利用児童数 令和8年 1月 9日 21名

回収数 18人

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2	0	0	・園庭の広さはもう少し広くてもいいのでは、と思った事もあります。が広過ぎて目が届きにくくなるのかと思難しい部分です	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	2	0	0	・少々部屋が暗いような気がします。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	・先生方の子供達に対する接し方？話し方？私はこの1年で見てて勉強になることが沢山ありました。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	0	0	1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	3		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3	0	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	1	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	0	0		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	15	0	0	3	・先日のつくし園まつりは楽しい時間でした。兄弟の参加もOKだったので、家族4人で楽しむことができました。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	1	・火災などの避難訓練はされているが、原子力災害時の避難については詳しく知りたい。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	3	・登園している日に避難訓練が行われるとも限らないかと思えます	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	・とても安心して通い、いつもつくし園を楽しみにしています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	・とても楽しみにしており、感謝感謝です ・行きたくない。という時もありますが、楽しんではいると思えます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0	・満足も満足です。いつもありがとうございます☺	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	つくし園（児童発達支援事業施設）			公表日	令和8年 2月17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・集まり室は程よいスペースとなっている。	・洗面所と園児棚が同じスペースにあるため込み合うことがある。 ・利用園児が多い日は窮屈さを感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		・職員数が少ないと思う。安全面等を考慮してもう少し職員を増やしたい。 ・休みの人が重なるなど足りない時がある。午前と午後切り替えが人手が足りない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		・洗面所は別のスペースに移したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・細部にわたる工夫をして対応している。	・経年劣化による定期的なメンテナンスが必要である。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		・もう少し部屋数がほしい。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・ケース・安全会議等で確認している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・保護者からの貴重な意見を常に反映している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・常日頃、職長や各種会議で確認している。	・心がけているが、改善の余地はある。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・よく実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・モニタリングシートを活用して保護者や本人をニーズを把握し計画に反映している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・支援会議を通して日々の振り返りで共通理解を図っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・共有し支援プログラムに活かしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・必要に応じて、円城寺、田中ビネー、新版K式などを活用している。	・シートは作成してはいるが確認までできていないことがある。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・朝夕実施するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・朝夕実施するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・ヒヤリハットなどはその都度記入するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	/	/		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		・実施できている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			・もっと積極的な交流をしたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			・保護者の研修の機会をもっと増やしたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			